

## 学習内容報告書\_宿毛市立 片島中学校 2

学校名	宿毛市立片島中学校
授業者	小川 力 谷山 亀一 江角裕輔

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

海の学習～故郷の海の素晴らしさを体験しよう～

#### 1-2. 学年

2年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

・宿毛市の自然環境と沖の島や鶴来島のことを知るために、宿毛市営定期船航路（沖の島航路）に乗り、海から陸を見たり、途中停泊する鶴来島を見たりする。沖の島に到着後、講師の方に沖の島の歴史や産業、豊かな自然環境等について学び、美しい海中の様子を観察するなどのフィールドワークを行う。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

学校の所在地は、宿毛湾に面した海の玄関口である。本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てもマリンレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者等にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、離島である沖の島や鶴来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1)沖の島の自然環境について関心を持ち、意欲的に体験活動に参加することができる。  
(2)講話や体験活動を通じて、故郷の離島（沖の島）やそのまわりの海の生物や自然環境について知り、自然環境保全のためにどのようなことができるか等、言葉や文章で表現できる。

### 1-7. 単元の展開（全11時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	事前学習	・1年生で学習した内容（宿毛湾の自然環境など）を振り返り、学習のオリエンテーションを行う
2	沖の島の自然や概要など、沖の島に在住の経験のある講師より講話を聴く 講師 宮崎 一朋 さん	・沖の島の地理的場所や概要を聴き、興味関心を持たせる。
6	沖の島での自然体験（フィールドワーク） (案内講話：沖の島小学校長 吉本 千史先生)	・地元である沖の島の自然を体験することで、知らなかったことや、沖の島の海の素晴らしさや地域環境を考える。 ・講師の説明を聞きながら、気づいたことなどメモをとらせる。 外部連携／沖の島小学校、宿毛市観光協会
3	まとめ・振り返り	・沖の島自然体験学習を振り返り、個人の振り返りと共に、学習して感じたこと、学んだことを新聞にまとめさせる。 (文化祭で発表・展示させる)

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

### 2-2. 本時の目標

沖の島での自然環境について関心を持ち、意欲的に体験学習を行う。  
故郷の離島（沖の島）やその周りの海の生物、自然環境について知る。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
沖の島自然体験（フィールドワーク） (1) 講師より沖の島の自然や暮らしについて説明を聞きながらフィールドワークを行う。	・早朝から沖の島に船で移動するため、参加生徒の健康状態を十分把握する。 ・熱中症対策をはかる。 ・講師の説明を聞きながら、気づいたことな

<p>案内、講話 沖の島小学校長 吉本千史先生</p> <p>(2) 海水浴場でのシュノーケリング体験</p> <p>(3) 振り返り・感想</p>	<p>どメモをとらせる。</p> <p>・参加生徒の安全を確保するために、シュノーケリングベストを着用させる。</p>
--	---

### 3. 今回の活動の自己評価

我が故郷、宿毛市の自然の素晴らしさを見て学んで体験することで、身近な里海としての宿毛湾の魅力を再発見することができた。

### 4. 今後の課題

この海洋教育パイオニアスクールプログラム（単元開発部門）の指定は、今年度で終わってしまう。今後、予算化の難しい学習内容についてはそれに代わるものを考え、これまでの取組をどう継承していくかなど内容整理し、海とは切り離せない自分たちの住んでいる故郷と人との共生など、地域や学校の特徴を生かした総合的な学習の時間のカリキュラムマネジメントが課題である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし